

第15回 神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール 奨励賞

成蹊中学・高等学校 高校1年 平井すず・星ことみ訳

おおきな ぞうさんの ちいさな ちいさな しま

アーノルドは ずっと うみを たびする ぞうさんでした。

アーノルドは うみを ともだちだと おもっていましたが、あるひ、おおきな なみが ざぶーん！ と、アーノルドの ふねを しずめてしまいました。

うんよく、アーノルドのはなは シュノーケルにも なりました。

しばらくすると、アーノルドは ちいさな ちいさな しまに たどりつきました。

ふと、アーノルドは むかしの ふなのりさんの うたを おもいだしました。

「ひろいひろいうみのうえひとりひとりひとりぼっち」

うんよく、アーノルドのはなは トランペットにも なりました。パオーン！ 「なんのうた？」 おさかなさんが ききました。

「SOSだぞう！」 アーノルドは いいました。「ぼくは たすけを まっているんだぞう！」でも、だれも たすけに きてくれない。

アーノルドが ちいさな しまを もういちど ぐるりと ひとまわりした ところ、せんちょうさんの ぼうしが ふらりと ながれつきました。

ぼうしをかぶってみると、とおくのほうに ちいさな ふねが うかんでいるのが みえました。

ねずみさんの のった ふねでした。

とうとう たすけが きたよ！！

アーノルドは なんとかしよう と がんばりました。

うみのぞうさん、ひものめいじん。さすが ふなのりさん！

やがて おじいさんいぬが ふねで やってきました。

アーノルドは ふねに そっと のりこんで...

おとっと！ また あなが あいちゃった！

アーノルドは みんなの たすけを かりて、しまを おおきく していきました。

つぎの あさ、おさかなをとる ふねが ぜんそくりよくで ちかづいて きました。

ありゃりゃ、どうやら おさかなをとる ふねが こわれちゃった みたい...

でも みんな ぶじに きしに あがれたね。

アーノルドの てにかかれば、なんでも つかえるよ！

ぎんいろの つきあかりに てらされながら、みんなで わいわい おどりました。

ひとばんじゅう、くじらの うたを うたいました。

すてきなうたは すぐに みんなに ひろまっていくよ！

みんな ぞうさんの いる しまへ まっしぐら！

ぞうさんは みんなを あたたかく むかえいれました。「ひとりでも ふたりでも まだまだは いれるぞう！ いつでも だれでも だいかんげい！」

しかし あるひ、そらが まっくらになって、かぜが ビュービューと つよく ふきました。またまた、うみがおこってしまいました。

みんなは アーノルドを みつめました。

もうそろそろ おうちに かえる じかかな？

「まってまって」 アーノルドは いいました。「ぼくにもっといいかんがえがあるぞう！」